

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ②ライフ分野(10/10)

|  | 総合評価<br>(IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算) | I  | II  | III                   | 総合評価に係る専門家所見(主なもの)  |
|--|--------------------------------|--|---|-----------------------|---|
|  |                                | 目標に向けた取組の進捗  | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況  | 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 |   |
| 国際医療交流の拠点づくり「りんくうタウン・泉佐野市域」地域活性化総合特区(大阪府、泉佐野市) | 2.5                            | 2.0<br><br>進捗度<br>・国際医療交流の推進<br>40%<br><br>・訪日外国人へのホスピタリティや地域魅力の向上による訪日促進<br>18% | 2.5<br><br>規制の特例等<br>・地域限定特例通訳案内士育成等事業<br>等<br><br>地域独自の取組<br>・国際医療交流の拠点づくり促進補助金<br><br>・宿泊施設設置奨励金<br>等 | 2.8                   | <p>・コロナ禍の中で、国内に居住する外国人に対する日本語医療通訳サポートは重要だと考えられる。遠隔技術などを活用しながら積極的に活動を行っている点は評価できる。</p> <p>・コロナ禍の問題が継続するなかで、入国規制等の制約から展望を見出せない状況にある。Web対応や医療機器の輸出などの対応を試みている点は評価したい。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大、新型コロナウイルスに関する水際対策の強化が本事業の目標達成に甚大な影響を与えたことは否めない。これまでの評価で指摘された点を踏まえ、新計画の目標の実現に期待したい。</p> <p>・医療分野の発展を目指しているが、外国人向けなのか、それとも、新規医療技術の進歩(計画書には「高度がん医療拠点施設の整備」と記載あり)を目指しているのか、基本軸がいまひとつ不明瞭な側面がある(国際交流に絞っているように見えるが)。</p> <p>・全般的な達成度の低さを考えると、関西国際空港が至近距離であることが国際医療交流の拠点になり得るという出発点そのものの見積りに甘さは無かったのか疑問が残される。</p> <p>・通訳の養成については、本事業での育成には無理があると思われ、既存団体(通訳団体など)との共同が効率的で、外国人の増減にも対応しやすいと思われる。</p> |